

- 既に承認されている薬剤・器具を緊急避妊のために転用したものについて解説したものです。
- わが国には、緊急避妊を目的とした薬剤や器具は承認されていません。
- 必ずしも避妊を保証するというものではありません。

## (2) 服用後の注意

- ①服用後、気分が悪くなるがありますが、通常は数時間で治まります。
- ②服用後、2時間以内に吐いてしまったときは、すぐに追加で2錠のみます。1回目の服用の後に吐いてしまったときは、すぐ追加で2錠のんだ後、さらに12時間後に2錠のみます。
- ③服用後、2時間以上たってから吐いてしまった場合は、追加のピルをのむ必要はありません。
- ④服用後、21日以内に月経のような出血が起こります。21日以上たっても月経のような出血が起こらない場合は、妊娠の可能性がありますので医師の診察を受けましょう。

### POINT

\* 緊急避妊ピルは、日常的に使う避妊方法としてはふさわしくありません。あくまでも緊急手段として心得ておきましょう。

## 2 銅付加子宮内避妊具を用いた場合

- 子宮内避妊具は、主として着床を阻害する避妊方法です。したがって、性交渉から120時間（5日間）以内に銅付加子宮内避妊具を挿入することで妊娠を防止することができます。
- 銅付加子宮内避妊具を挿入した場合には、軽い痛みや少量の出血が起こることがあります。
- 銅付加子宮内避妊具を緊急避妊目的で使用した場合の利点は、目的が達成された後もそのまま避妊方法として使い通すことができることです。

